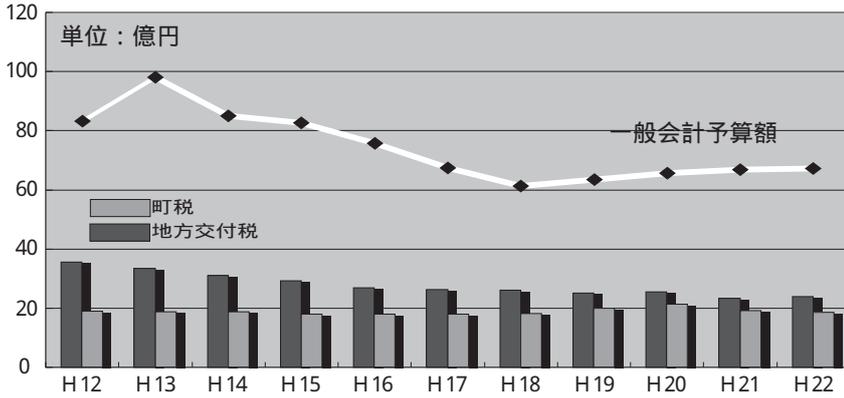


一般会計予算、地方交付税、町税の推移

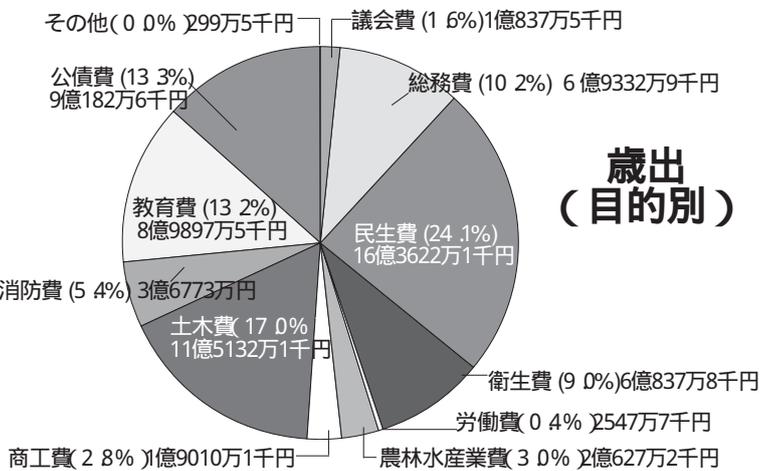
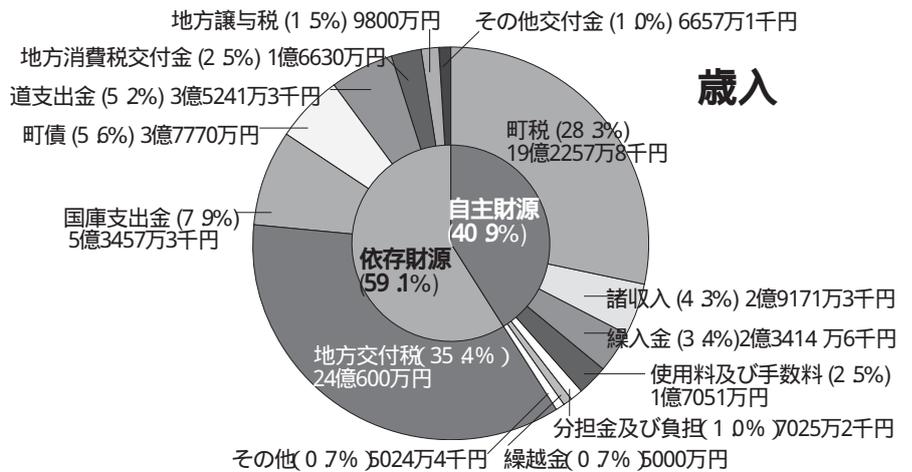


町税は、山田地区への法人進出や不動産譲渡の伸びから法人・個人町民税で約2800万円、昨年までのヒラフスキー場地区の建設ラッシュにより固定資産税で約2200万円、町たばこ税の税率改定などからやや増収になるものと見込んでいます。

財源の不足分については、新たな借り入れを極力行なわず、財政健全化基金⁵などから2億2千万円を取り崩し、穴埋めします。

9761万円(前年度当初比6.3%)、借入額は3億7770万円(前年度当初比19.1%)、90万円減)としました。

この結果、一般会計の町債残高は、平成23年度末で、69億9421万1千円となる見込みです。



町債 = 借金 残高

	22年度末(見込み)	23年度末(見込み)
一般会計	73億9091万2千円	69億9421万1千円
特別会計	46億5502万1千円	45億969万9千円
合計	120億4593万3千円	115億391万円

基金 = 貯金 残高

	22年度末(見込み)	23年度末(見込み)
一般会計	14億4340万5千円	14億1438万2千円

5 基金
 家庭に例えると、「貯金」に当たりません。歳入不足を補うことに使われるものや決まった目的のために取り崩しができるものがあり、俱知安町では13の基金があります。そのうち、財政健全化基金は財源不足を補ったりするため、積み立てた基金の一つ。各年度決算で収入が支出を上回った場合、その全部か一部を積み立てることが法律で決まっています。

6 実質公債費比率
 一般会計の公債費のほか特別会計や企業会計などへの公債費返還のための繰入金など、実質的に公債費返済に充てられたものの占める割合です。

自治体の財政負担の程度を判断する指標とされています。18%以上になると地方債発行に許可が必要とされます。俱知安町は21年度決算で17.9%ですが、少しずつ改善されてきています。

7 町債
 俱知安町の長期にわたる借入金のこととです。道路や橋、学校などのように、長期にわたって利用される施設の建設に必要な資金について、財政的負担の軽減と世代間の負担の公平を図るという観点から、町債という形でお金を調達して対応しています。

町民向け予算説明書「アクティブくつちゃん」は、広報くつちゃん5月号と一緒に配布する予定です。